

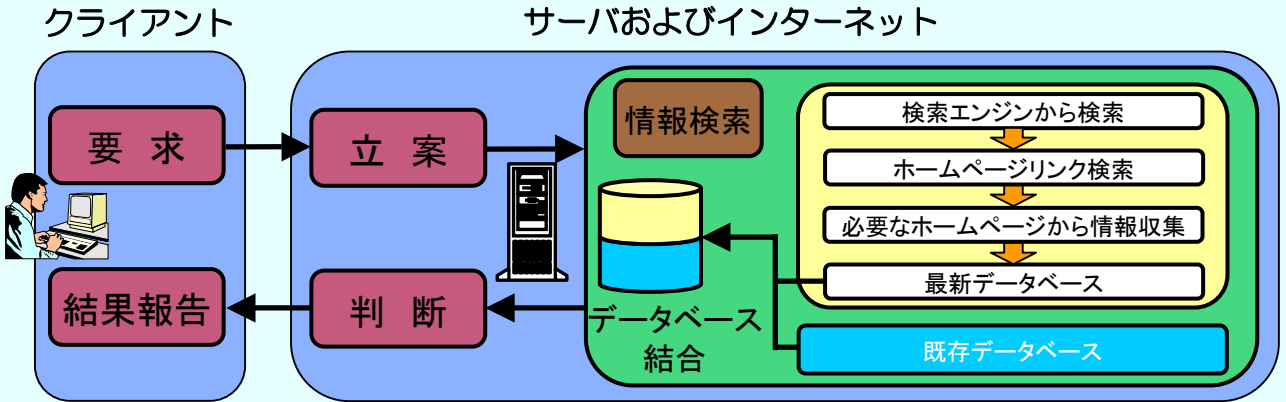
# インターネット自動情報検索システムの開発

情報技術部 村河亮利, 藤原義也, 岩谷 稔, 馬場祥宏

## はじめに

インターネット上には多くの情報が散在しており、この中から必要とする情報のみ検索するのは、検索エンジン等を使用したとしても多大な時間と労力を要します。そこで、自動的に必要とする情報をインターネット上から検索して整理・提示できるシステムを開発した。

## 概念図



- 1 (要 求) 対話形式で検索の要求
- 2 (立 案) 要求分析し検索に必要な手法・手順の立案
- 3 (情報検索) インターネットからの情報収集と独自作成したデータベース情報結合の実行
- 4 (判 断) 技術者が必要とする情報の判断
- 5 (結果報告) 判断に基づいて抽出した結果の報告

## (検索例)オシロスコープの仕様を検索する場合

### 要求項目設定

キーワード	オシロスコープ	
項目	帯域	100 MHz以上
	チャンネル数	2 以上
	価格	2,000,000 以下

検索エンジンに問い合わせるキーワードを『オシロスコープ』とした場合、その結果の中で、『帯域が100MHz以上、チャンネル数2以上、. . .』と、表形式で掲載されているページ検索を行う場合の設定例。

### 検索結果

項目	価格	チャンネル数
D-C-200MHz型	5367,500	2
D-C-100MHz型	5392,950	2
D-C-100MHz型	5231,000	2
D-C-100MHz型	5114,400	2

### システム評価結果

時間	自動: Web: 65分、解析: 6分		
	手動: 2,310分 (推定)		
ページ数	総数	自動	正解
	9,131	565	50
内訳			
0階層	121	34	12
1階層	823	85	25
2階層	1,385	175	14
3階層	2,385	209	12
4階層	2,919	56	1
5階層	1,498	6	0

大幅な時間短縮

見落としがあるが、対象とする形式ではないことが判明。

項目設定による絞込

## まとめ

インターネット上から自動的に情報収集・提示することにより、利用者の検索時間の短縮および情報の見落としを軽減するシステムができた。